

注意報第1号

病防第7号

平成13年4月6日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

このことについて、平成13年度病虫害発生予察注意報第1号を発表したので送付します。

---

注 意 報

平成13年度病虫害発生予察注意報第1号

平成13年4月6日

熊本県病虫害防除所長

農作物名            いぐさ

病虫害名            イグサシンムシガ

1 予報内容

- (1) 発生地域    いぐさ栽培地域
- (2) 発生時期    4月中旬以降
- (3) 発生程度    平年比    多

2 注意報発令の根拠

- (1) 3月下旬に実地したいぐさ本田での越冬調査では、越冬密度及び発生ほ場率とも平年に比べて高い(表1)。

また、発育ステージについては蛹化率13%~29%と平年並であるが、幼虫は終齢幼虫の割合が高かった。

表1 越冬密度（頭／10 m<sup>2</sup>）及び発生ほ場率

調査地区	八代地区	宇城地区	球磨地区
本年値	12.9(89.2%)	13.1(100%)	5.9(80.0%)
昨年値	1.2(27.5%)	1.1(20.0%)	1.8(37.5%)
平年値	3.7(57.4%)	7.2(62.4%)	5.1(65.7%)

※1. 越冬密度は10 m<sup>2</sup>当たりの幼虫と蛹の合計数

※2. ( )内は発生ほ場率

### 3 防除法

- (1) 発蛾最盛日は、八代・宇城地区で4月13～16日頃、球磨地域では4月22日頃の予想である。しかし、発生時期、発生量ともにほ場間差がみられるので、いぐさ本田内の成虫発生量を観察し、発蛾最盛期を中心に7日間隔で広域防除を行なう。
- (2) 産卵及びふ化幼虫の食入を防止するため、5 cm以上の深水管理を行なう。
- (3) 防除薬剤の選定については、県及び地域の防除基準を参照し、使用に当たっては事故がないように心がける。